PART1　す・さす・しむ

す・さす・しむ

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
「　・　・　」の形	す							型
それ以外の形	さす							型
形	しむ							型

※「四段・ナ変・ラ変」の未然形＝「　」段＋す
それ以外の未然形＝「　」段＋さす

問一 「歌よみてやら[　　]たまふ。」の空欄には助動詞「す」を活用させた語形が入る。最も適切なものを、次の中から選べ。

ア す　イ する　ウ せよ　エ すれ　オ せ

【意味】

① **使役**（〜せる・〜させる）

② **尊敬**（〜なさる・お〜になる）

★**〈意味の見分け方〉**＝「　　」を見る。

「　　」＝ す／さす／しむ ＝ 「　　」又は「　　」

す・さす・しむ ＋「　　」

「　　」＝ 給ふ ＝おはす（おはします）／らる

ない ⇒ 「　　」（す・さす・しむの左の「　」）

ある ⇒ 「　　」又は「　　」

（例）

たよりごとに、ものも絶えず得**させ**たり。

（袖口から）さし出で**させ**給へる御手のはつかに見ゆるが、…

※真下に尊敬語がある場合→「　　」を確認

「人に」
「人をやりて」
「人を召して」
「人に命じて」
「人して（＝に命じて）」

｝がある→「　　」

「人に」が補える→「　　」

（例）随身に持た**せ**給ふ。

問二　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

① 書きたるを御覧ありて、大いに笑はせおはしまして、…

② それを、張らせてまゐらせむとするを、…

③ 御供なる右近大夫を召して、点しつけさせたまふ。

④ 皇后宮聞かせ給ひて、いみじう喜ばせ給ふを、…

⑤ 心にくき限りの女房、四五人ばかり候はせ給ひて…
※候ふ＝お仕えする

★地の文（＝~~会話文~~）で**二重尊敬**の主語＝「　」

問三　「御随身に取らせて帰るを…」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　受身　　イ　尊敬　　ウ　自発　　エ　断定　　オ　使役　　カ　完了（存続）

問四　「竟宴(きやうえん)といふこと、春日殿(かすがどの)にて行はせたまふ。」の傍線部の助動詞の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

※春日殿…場所の名。

ア　可能　　イ　受身　　ウ　完了　　エ　使役　　オ　尊敬　　カ　自発

問五　「言ひもよほして、せさするならむ」の傍線部の助動詞の意味、終止形、活用形をそれぞれ答えよ。

問六　「これはいかにせしめたまふぞ」の傍線部の文法的説明として適当なものを、次の中から選べ。

ア　動詞「せしむ」の連用形＋尊敬の補助動詞「たまふ」の連体形
イ　サ変動詞「す」の連用形＋尊敬の助動詞「しむ」の未然形＋尊敬の補助動詞「たまふ」の連体形
ウ　サ変動詞「す」の連用形＋使役の助動詞「しむ」の連用形＋謙譲の補助動詞「たまふ」の終止形
エ　サ変動詞「す」の未然形＋尊敬の助動詞「しむ」の連用形＋尊敬の補助動詞「たまふ」の連体形
オ　サ変動詞「す」の未然形＋使役の助動詞「しむ」の未然形＋謙譲の補助動詞「たまふ」の終止形

〈Memo〉

第12講　PART1　確認問題

① 「世間（せけん）の作法したため［　　］給ひしかど、…」の空欄には助動詞「さす」が入る。正しく活用させた語を次の中から選べ。

ア　させ　イ　さす　ウ　さする　エ　さすれ

② 「さらにえ<u>忍びあへ</u>させたまはず」の傍線部の活用形として正しいものを、次の中から選べ。

ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形　エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

③ 「わが岡の龗（おかみ）に言ひて降ら<u>しめ</u>し雪の摧（くだ）けし其処（そこ）に散りけむ」の傍線部の文法上の意味として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　尊敬　イ　完了　ウ　自発　エ　使役　オ　可能　カ　過去

④ 「伊勢・貫之(つらゆき)に詠ま<u>せ</u>たまへる、大和(やまと)言の葉をも、…」の傍線部の文法上の意味として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　尊敬　　イ　完了　　ウ　自発　　エ　使役　　オ　可能　　カ　過去

⑤ a～cの傍線部の文法上の意味の組み合わせとして最も適切なものを、次の中から選べ。

a　妻(め)の女(をうな)にあづけて養は<u>す</u>。
b　人に聞か<u>せ</u>じとし給ひけれど、…
c　夕月夜(ゆふづくよ)のをかしきほどに、出だし立て<u>させ</u>たまひて、…

ア　a＝尊敬　b＝尊敬　c＝使役
イ　a＝使役　b＝尊敬　c＝使役
ウ　a＝尊敬　b＝使役　c＝尊敬
エ　a＝使役　b＝使役　c＝尊敬

第12講　PART1　解答

問一　オ

問二　① 尊敬　② 使役　③ 使役　④ 尊敬　⑤ 使役

問三　オ

問四　オ

問五　使役・さす・連体形

問六　エ

第12講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

① 空欄の直後にある「給ひ」は補助動詞（用言）なので、連用形に活用させる。よって、アが正解。

② 尊敬の助動詞「さす」は未然形に接続する。よって、アが正解。

③「竈（竜神）に言ひて降らしめし」とあるので、ここでは使役の意味。よって、エが正解。

④ 直後に「たまへ」という尊敬の補助動詞があるが、ここでは「伊勢」や「貫之」に（和歌を）詠ませる、という使役の意味で用いられている。よって、エが正解。

⑤ aは「（妻である）女」に養わせるという使役の意味。bは「人に」とあるので使役の意味。cは直後に「たまひ」があり、かつ「人に」にあたる言葉がなく、また補うこともできないので、尊敬の意味。よって、エが正解。

〔解答〕

① ア　② ア　③ エ　④ エ　⑤ エ